

新規受験申請者数は1,643名

内発協は、平成25年度専門技術者講習・試験の受験申請者数をまとめた。それによると、新規の専門技術者受験申請者数は、自家用発電設備専門技術者が昨年度比93%の1,063名、可搬形発電設備専門技術者も昨年度比86%の580名で、合計で1,643名となった。

本年度を含めた、ここ5年間の受験申請者数の推移について、自家用発電設備専門技術者は大幅に増加した昨年度の申請者数1,146名に比べ減少となった。しかしながら、昨年度に次いで多い申請者数である。一方、可搬形発電設備専門技術者については昨年度に引き続き減少となった。

新規受験申請以外では、科目別受験（※1）が38名、業務区分追加受験（※2）が47名、資格再付与受講（※3）が48名と、それぞれほぼ平年並みの申請状況であった。

専門技術者資格を取得するための講習・試験は、9月上旬から11月上旬にかけて、自家用発電設備専門技術者の講習・試験は全国10会場（札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇）で計13回、可搬形発電設備専門技術者の講習・試験については隔年開催の那覇を除いた、9会場で計9回それぞれ実施する。

受験結果については、講習・試験終了後に開催される内発協の自家用発電設備専門技術者審査委員会で審査される。ここでの審査結果に基づき、内発協会長が合否を決定し、年内には受験者あてに合否結果が通知される見通し。

- ※1：昨年度受験科目の一部が合格点に達しなかったことにより合格できなかった者が、その科目を再度受け直す受験をいう。
- ※2：既に専門技術者の資格を有している者が、未取得の業務区分を新たに資格に追加（M→KM）しようとする受験をいう。
- ※3：過去3年以内にやむを得ない事情により専門技術者資格を喪失した者を対象に、新規受験会場における講習を全て受けることにより、資格を再度付与する受講をいう。